

「岐阜市の自然情報調査」の進捗状況等

1 現地調査対象の抽出及び調査地点の選定について（その1）

調査分類群	抽出・選定の考え方	
植 物	調査対象	・既存レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先的に抽出
	調査地点	・調査地点は既調査地点及び結果を参考に抽出
哺乳類	調査対象	・全種を対象とするが、既存レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地確認が必要とされた種を優先的に抽出 ・大型哺乳類は市の有害獣対応記録で補完
	調査地点	・既調査地点及び結果を参考に抽出
鳥 類	調査対象	・市内で繁殖している鳥種については春季～夏季の繁殖期に現地調査を実施 ・市内に飛来する渡り鳥については「日本野鳥の会岐阜」からの情報提供により補完
	調査地点	・繁殖期調査は市内を基準地域メッシュで分割（230メッシュ）し、各メッシュの代表地点にてラインセンサスを実施
爬虫類	調査対象	・カメ類に絞り現地調査（トラップ調査）を実施 ・その他の爬虫類は全調査員からの目撃情報を収集
	調査地点	・既調査地点の中から、特に現地調査が必要とされた地点を優先的に抽出 ・市内全域の主な河川、水路を網羅する形で調査地点を設定
両生類	調査対象	・カエル類に絞り現地調査（産卵調査、鳴き声調査、目視調査）を実施、その他の両生類は全調査員からの目撃情報を収集
	調査地点	・産卵調査、目視調査は既調査地点を参考に抽出、鳴き声調査は市内の水田地域全域を網羅する形で調査地点を設定
魚 類	調査対象	・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点を優先的に抽出 ・市内全域の主な河川、水路を網羅する形で調査地点を設定
昆虫類	調査対象	・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点及び環境要素を優先的に抽出

1 現地調査対象の抽出及び調査地点の選定について（その2）

調査分類群	抽出・選定の考え方	
貝類	調査対象	・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点及び環境要素を優先的に抽出 ・淡水産貝類は市内全域の主な河川、水路を網羅、陸産貝類は既調査が手薄だった地域を補完する形で調査地点を設定

※ 甲殻類は両生類・魚類・昆虫類・貝類調査の際に確認された種を記録

2 情報収集状況について（令和3年3月末時点）

	収集情報（件）	種数（種）	備考
既存調査(H21～25)	60,428	5,366	
現行調査(R1～2※)	78,725	6,077※	調査期間はR3年度まで
既存・現行調査 集計	139,153	6,861※	現行調査での新規記録は 1,501種※

※ 現時点では種名が未確定のため「種数」は参考値

3 R3年度 of 自然情報調査について

- ・事務局にてR2年度までの調査結果をとりまとめ、各調査班に提供します
- ・各調査班は、上記情報収集状況を把握し、R4年度から着手予定の「レッドリストの見直し」を含めた、R3年度の現地調査を計画・実施して頂く